



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'94 12月号



《体験学習》

11月13日開催

『紙すき』

■体験学習「紙すき」が、11月13日の日曜日、11名の参加者を得て実施されました。

■当日の指導は、埼玉県小川町在住の金子庫市氏にお願いしました。金子さんは、小川町で「金子和紙工房」という工場を持ち、和紙製造40年の経験を持つ方で、小川町の手漉き和紙が国の重要無形文化財に指定されていることから、その伝統技術保持者のお一人として活躍されています。

■当日の体験学習は、先ず、金子さんから手

漉き和紙製造工程の簡単な解説を伺った後、楮<コウゾ>百パーセントの和紙を漉く、いわゆる和紙漉きの技術を参加者全員が体験いたしました。漉き具（簾や杵）・ねり（トロアオイ）の特性が実際の体験を通して解説され、また、透かしや押し花の漉き込み等も体験しました。

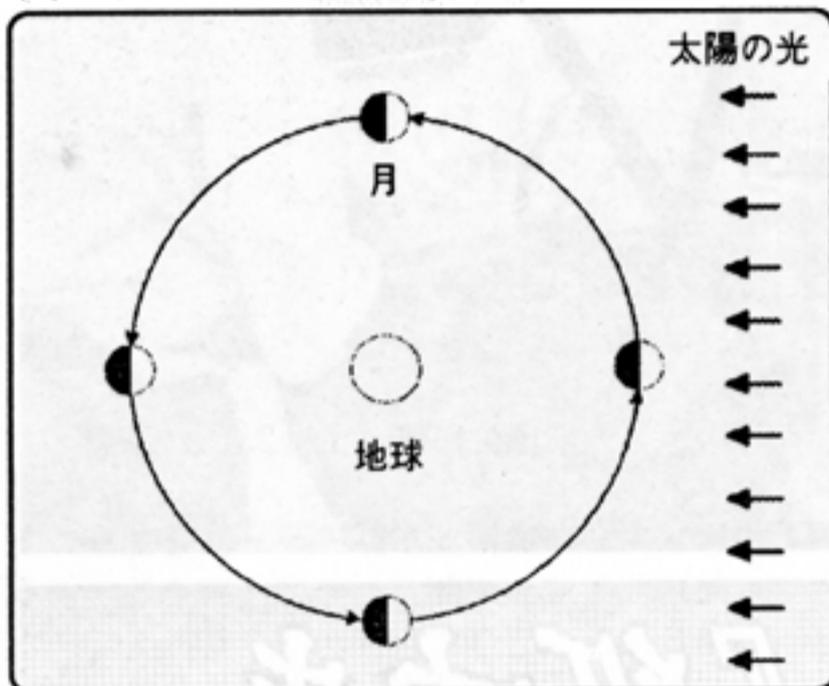
■現在失われつつある伝統技術に触れることが参加者にとり貴重な体験になった一日でした。

月面遊覧Ⅱ

12月3日～1月8日

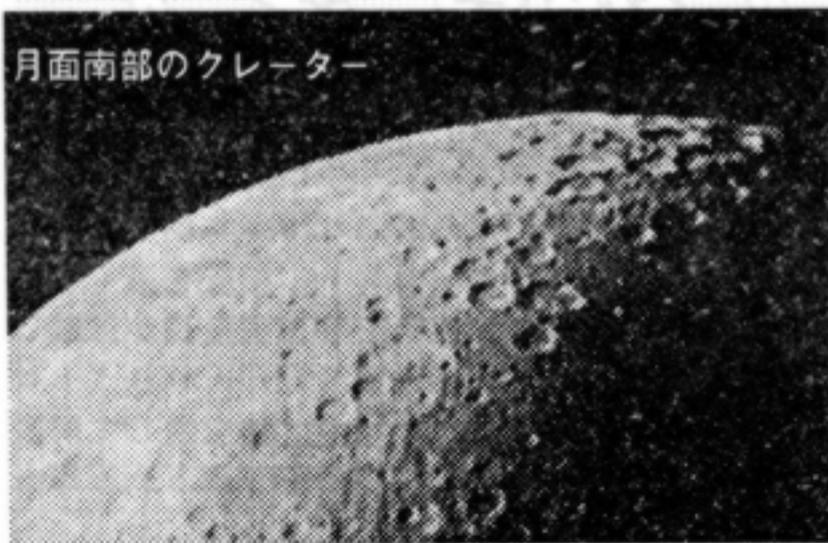
今度のお正月は元旦がちょうど新月になりました。晴天日が多い季節なので、毎日同じ時間に空を見ることが出来るでしょう。月の形、位置の変化を追うにはもってこいです。今月のプラネタリウムでは、毎日の星空の他、月の見えかたと、望遠鏡で見た月面のようすを紹介することにしました。

月が光るのは、太陽の光がまるい月にあたっているからです。右からあたっていれば右側が光り、左からあたっていれば左側が光ります。満月はほぼ正面から光があたっている状態で、つまり月を眺めているわたしたちの背中から、太陽の光が来ていることになります。お月見のとき、夕方、東から月が昇ってきます。このとき太陽はたしかにわたしたちの背後、西の地平線の下にあるでしょう。夕方見える半月、上弦の月はどちら側が光っているでしょう。これも太陽のある西側のはずです。



月は地球のまわりを、約1ヵ月かかってまわります。左の図は、かなりおおざっぱですが、それを上から見たところです。地球の位置にあなたが立って月を見たとき、それぞれの位置の月が、向かって右側が光るか、左側が光るか、考えてみてください。

プラネタリウム投影では、見える時間帯の変化を含め、このパターンを今月を例に追ってみます。また、月面に見られるクレーターや「海」などの、迫力ある映像をVTRで紹介します。



- 投影日
土曜・日曜（年末年始をのぞく）
1月5日（木）
- 開始時間
11:00 14:00
- 観覧料
1人 100円

寄贈品コーナー展示 **平塚の遺跡探索** -最新調査の成果-
平成6年12月1日(木)～平成6年12月27日(火)

■平塚市博物館では平成4年度に「古代遺跡を探す会」が発足し、市内の遺跡分布調査を継続して行っています。一方、社会教育課では市内の発掘調査を精力的に進め、大きな成果を上げています。

■今回の展示では、例年の「古代遺跡を探す会」の採集資料を発表するとともに、「銅印」の出土で話題を呼んでいる構之内遺跡の出土資料を速報展示し、地面の上下両面から進められている考古学調査の成果を紹介します。

古代遺跡を探す会
最新調査資料
-遺跡分布調査の成果-

■「表面採集」という調査は、地表に出てきた土器や石器などの資料を採集する方法です。資料が採集された場所は、その下にもっと多くの資料が眠っていると考えられますから、遺跡である可能性が高いといえます。また、すでに遺跡であることが知られている場所では、より多くの資料を採集して調べることが、遺跡の時代やひろがりを知る手がかりとなります。

■調査では地図と調査カード、そしてビニール袋を持ち歩きます。資料を採集したらその場で調査カードを記入し、採集した場所ごとに資料を袋に入れていきます。採集地点やカードと資料との対応がわからなくなないように、確実に処理しなくてはなりません。

■表面採集は、発掘や測量にくらべて容易に調査が進められます。しかし、得られる情報は多く、現在ある遺跡のほとんどが、表面採集の結果に基づいているのです。



構之内遺跡
最新出土資料
-よみがえる古代の銅印-



銅印の印影(実寸大)

■構之内遺跡は平塚市の砂州・砂丘地帯の北部に位置する遺跡で、今回資料を展示する第3地点は、今年5月から10月まで5カ月にわたる発掘調査が行われました。

■検出された遺構は竪穴住居址・掘立柱建物址・土壇・井戸址・土壇墓・配石遺構・道路状遺構と多岐にわたり、遺物も平安時代の役人の暮らしを彷彿とさせるものが数多く出土しています。なかでも「平」の文字が刻まれた銅製の印は9世紀後半から10世紀前半のもので、私的な印と考えられます。神奈川県下で3例目となる銅印は、相模国府研究の貴重な資料です。

資料提供：平塚市教育委員会、
平塚市遺跡調査会

12月の行事予定

3	土	天体観察会「アルゴルの変光」 ＜至：4日＞
10	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会
11	日	○自然観察ゼミナール 「カマキリ入門」 相模川の生き立ちを探る会 「塩川滝と化石・愛川町」
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 ○自然観察ゼミナール 「冬鳥入門」
18	日	古代遺跡を探す会 ○体験学習「おかざり作り」
22	木	裏打ちの会
24	土	古文書講読会
25	日	○冬の自然観察会 ○体験学習「家紋だこ作り」
28	水	年末・年始休館＜至：1/4＞

1月の行事予定

7	土	○自然観察ゼミナール 「冬鳥入門」
14	土	古文書講読会 ◎漂着物を拾う会
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 天体観察会 「スターウォッチング調査」
22	日	相模川の生き立ちを探る会 「相模野基線を歩く・相模原」
26	木	裏打ちの会
27	金	○星を見る会「冬の星座」 天体観察会 「スターウォッチング調査」
28	土	古文書講読会 天体観察会 「スターウォッチング調査」
29	日	古代遺跡を探す会
31	火	月末休館日

◎は参加自由 ○は申込制 他は会員制
◇博物館行事等に関するお問い合わせは
0463-33-5111 管理係・学芸係まで◇

12/1～12/27 寄贈品コーナー <考古部門>
1/7～1/29 寄贈品コーナー <木地玩具>
12/3～1/8 プラネタリウム「月面遊覧 II」
1/14～3/12 プラネタリウム「地球のしっぽ」

◆漂着物を拾う会◆

海岸に打ち上げられた動物・植物・人工物を集めて調べます。

開催日：12月10日（土）
1月14日（土）

時間：9：30～15：00

場所：平塚海岸・博物館<科学教室>

参加：自由

（花水川河口平塚側たもと集合）

備考：雨天時中止

募集◆体験学習「家紋だこを作ろう」◆

☆家紋を入れた角だこ作りを体験します。

開催日：12月25日（日）

時間：9：00～16：30

場所：博物館<科学教室>

対象：小学生以上（親子参加も可）

材料費：400円

定員：30名（応募多数の場合は抽選）

申込：往復はがきに住所・氏名・学年・
電話番号を書いて「たこ」係まで

締切：12月10日（土）

会員募集◆「冬の自然観察会」◆

テーマ：「冬の雑木林を訪ねて」

場所：二宮町吾妻山付近

開催日：12月25日（日）

申込：往復はがき（1家族1枚）に住所・
氏名・電話番号を書いて「冬の
自然観察会」係まで。

締切：12月15日（木）

募集「自然観察ゼミナール：冬鳥入門」

テーマ：「冬鳥入門」（全3回）

内容：カモやカモメの仲間の見分け方と
観察の入門

開催日：12月17日（土）14：00～16：00

時間：<博物館でお話>

場所：1月7日（土）13：00～16：00

<野外観察（花水川方面）>

2月5日（日）9：00～15：00

<野外観察（酒匂川方面）>

申込：往復はがき（1家族1枚）に住所・
氏名・電話番号を書いて「自然
観察ゼミナール」係まで。

備考：3回続けて参加できる野鳥観察の
初心者（探鳥経験10回以下）の
方とします。

締切：12月10日（土）

あなたと博物館 19巻9号 通巻214号 ③3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41 TEL:0463(33)5111 FAX:0463(31)3949 ※この用紙は再生紙を使用しています